



兵庫教育大学大学院同窓会総会・研究大会 in九州

8月3日(土)・4日(日)、標記大会を「福岡リーセントホテル」にて開催しました。兵庫教育大学大学院同窓会総会は昭和57年2月の結成大会以来、このたび第33回を数えました。今大会は、沖縄を含む九州ブロックの8支部が協同して運営に当たるといふ、文字通り<in九州>の力を結集した新しい形の大会を提示してくださいました。福岡県・福岡市・北九州市各教育委員会の後援事業としてそれぞれから来賓のご臨席を得、北は岩手県から南は宮崎県まで18府県の修了者・在学者と大学関係者など、合わせて105名の参加がありました。

大坪大会実行委員長(宮崎県)、西河副委員長(福岡県)、草場事務局長(佐賀県)をはじめブロック各支部から集われた委員の皆さま方が、細かい配慮の行き届いた心温まる大会を創りあげてくださいました。ありがとうございました。



加治佐学長が基調講演『学び続ける教師像』で示された教員養成



スタンダードと、それに続いて行われた3本の実践研究発表は大好評でした。

1) 『爽風館高校というラボラトリー』

松本恵太(大分県、総合学習系25期)、大分県立爽風館高等学校3部制課程 教頭

2) 『「チーム」創造へ向けてのストラテジー』

猪野 滋(宮崎県、社会系9期)、宮崎大学教育文化学部附属中学校 副校長

3) 『教職員個々の「教師力」を高める学校内人材育成の一方途』

田中隆義(福岡県、自然系2期)、福岡県福津市立福間中学校 校長



学長が、学び続ける教師の育成についてお話くださった、まさにその具現がそれぞれの実



践発表の内容でありました。学校教職員集団を、教育指導の、また職能向上の<チーム>として育て上げた実践の過程が3様で示されましたが、同席く

ださった大学の先生方からも、「非常にレベルが高い発表であった。何よりも大学の研究者には真似できない実践家としての論理が貫かれていた。」との評価を聞いています。

研究大会の恒例となった「教育実践研究活動等に係る表彰」が行われました。4回目の本年は次の6名の方々に加治佐学長・大橋会長から表彰状と記念品が贈られました。

嬉野賞 3名：中田 正浩（大阪府、社会系7期、教育経営25期）

森 泰三（岡山県、社会系13期）

山下 恭（兵庫県、社会系3期）

奨励賞 1名：森本 雄一（兵庫県、自然系28期）

特別賞 2名：酒巻 成欣（大阪府、教育方法2期）

塩瀬 昌雄（大阪府、教育経営1期）



情報交換会では、嬉野村での学生生活を懐かしく語り、旧交を温め合う姿があちこちで見受けられました。



平成26年度の大会を山口県（8月9日（土）・10日（日）、山口市湯田温泉）で開催することの予告と参加の誘いが石川山口県支部代表から行われました。「おいでませ 山口へ～」そして、今大会の成功を祝し、山口での再会を約束する〈博多一本締め〉を全員で行いました。

2日目は太宰府方面への巡検に出ました。水城堤・政庁跡を車窓から望み、天満宮や九州国立博物館の見学と、在住の同窓生による軽妙な解説に酔いながらひとときの歴史旅を満喫しました。酒蔵を改装した昼食会場では利き酒を重ね、ここでも酔った仲間がいたことは一興でした。

